

# マテマティカ

できる！わかる！使える！  
大芝小学校 6年生 少人数通信  
6月9日(金) No. 03

## 『折り返し地点』

初夏の候、6年生がスタートし、2カ月が過ぎました。1学期も折り返し地点にさしかかり、算数の授業ではコース別での学年分割授業が始まっています。また、1学期の算数の学習内容も折り返しまで来ているので、残りの単元もがんばっていきましょう！！



そこで、現在コース別に分かれて学習している『分数のかけ算』について、学習した内容を振り返りましょう。

「分子と分母をそれぞれかける」という計算の方法だけでなく、分数に分数をかけるとはどういう意味なのか、しっかり理解し、覚えておきましょう。

## ① 『分数をかけるとは』

ある数に分数をかけるとは、ある数を等分（分母）したものが、いくつぶんあるか（分子）と考えるとわかりやすいです。つまり、例えば  $\frac{3}{5}$  に  $\frac{5}{8}$  をかけるということは、 $\frac{3}{5}$  を8等分したものが、5つ分あるということで、 $\frac{3}{5} \div 8 \times 5$  と考えることができます。

## ② 『分数に分数をかける計算のしかた』

分数に分数をかける計算は、分母どうし、分子どうしをかけます。

◎と中の式で約分すると、計算が簡単になります。

◎帯分数は、仮分数になおして計算します。

◎整数は、分母を1とする分数と考えて計算します。

$$\frac{b}{a} \times \frac{d}{c} = \frac{b \times d}{a \times c}$$

### 3 『積の見当をつける』

1より大きい分数をかけると、積はかけられる数より大きくなり、  
1より小さい分数をかけると、積はかけられる数より小さくなります。

かける数 < 1 のとき・・・ 積 < かけられる数  
かける数 = 1 のとき・・・ 積 = かけられる数  
かける数 > 1 のとき・・・ 積 > かけられる数

### 4 『かけ算のきまり』

$$\textcircled{1} a \times b = b \times a$$

$$\textcircled{2} (a \times b) \times c = a \times (b \times c)$$

$$\textcircled{3} (a + b) \times c = a \times c + b \times c$$

$$\textcircled{4} (a - b) \times c = a \times c - b \times c$$

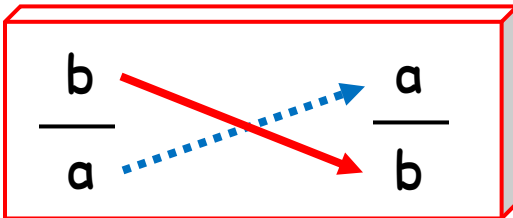
上の①～④のかけ算のきまりは、分数を入れても成立します。  
また、このきまりを使うと、計算が楽になることがあります。

### 5 『逆数』

2つの数の積が1になるとき、一方の数をもう一方の『逆数』といいます。

◎分子と分母を入れかえた数が逆数！

◎帯分数や小数は、真分数・仮分数にしてから逆数にする！



「分数のかけ算」は、来週にテストをする予定です。それが終われば、次は「分数のわり算」の単元に入っていきます。

以上、**まとめティカ** でした。